



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2021年8月8日 No.344

現業機関における柔軟な働き方の実現について 解明の申し入れ（第一弾）を提出！

東日本ユニオンは2021年5月26日に経営側より「現業機関における柔軟な働き方の実現について」の提案を受けました。本提案は社員一人ひとりの働き方や業務内容が大きく変わる施策であり、JR東日本の将来を大きく左右する施策であると受け止め、全組合員で3つの視点から検証・検討する取り組みを進めてきました。

- ① JR東日本が企業活動をする上で、会社の発展のために要員や運用、コスト面など「効率性」や「生産性」に対する視点（「業務を融合」とした組織再編の整合性など）
- ② お客さま視点（「安全」「サービス」の維持・向上の実現など）
- ③ 組合員・社員視点（「安全」「健康」「労働意欲」について、「賃金」「手当」との整合性、社員とその家族の人生設計に対する影響など）

取り組みを通じて寄せられた組合員の意見や疑問などを踏まえ、8月4日に申第1号「『現業機関における柔軟な働き方の実現について』に関する申し入れ」を提出しました。

【申し入れ項目】

1. 「現業機関における柔軟な働き方の実現について」を行う目的を明らかにすること。
2. 施策実施で目指す「ヒト起点での新たな価値の創造」とは何かを明らかにすること。
3. 施策実施に伴う営業費用と営業収益の効果見込みについて明らかにすること。
4. 施策実施により、安全がどのように向上するのか明らかにすること。
5. 施策実施により、お客さまサービスがどのように向上するのか明らかにすること。
6. 各担務に精通するプロをどのように養成するのか明らかにすること。
7. 新たなジョブローテーションとの整合性を明らかにすること。
8. 新たなジョブローテーションが今後どう変化していくのか明らかにすること。
9. 統括センター及び営業統括センター所属社員の「新たなジョブローテーション」の担務の考え方について明らかにすること。
10. エルダー社員も対象としている理由を明らかにすること。
11. 現業機関における職名を見直す理由を明らかにすること。
12. 新たなジョブローテーション実施時に「車掌」と「運転士」の職名を廃止し「乗務係」に統一したが、さらに職名の見直しを行う理由を明らかにすること。
13. すべての現業機関における職名を、助役は「副長」に変更した理由を明らかにすること。
14. 企画部門の職名変更については「検討していく」としている理由を明らかにすること。